

診療所だより 8月号



タバコは歯周病の進行を進めます。約4800人初診患者さんの喫煙状況と歯周病の進行度を比較したデータがあります。中等度、重度歯周病の割合をみると、30代喫煙患者さんと40代の非喫煙患者さんでは同じくらいとなりました。40代の喫煙者と50代の非喫煙者、50代の喫煙者と60代の非喫煙者も同じような割合です。つまりタバコを吸っている人は、吸わない人より10年歯周病の進行が速くなるといえます。歯周病を予防するのにタバコはきっぱりやめましょう。なお新型タバコも同じです。

歯科医 山本圭子

医科 (電話75-6100)

歯科 (電話75-6105)

日	曜日	午前受付8:30~11:30 午後受付2:00~ 4:00		午前受付9:00~11:30 午後受付2:00~ 5:30	
		午前	午後	午前	午後
1	水	山本	小松	診療	診療
2	木	小松	小松	診療	診療
3	金	小松	小松	診療	診療
4	土日	休診(救急・急患対応)		休	診
5	月	伊黒	伊黒	診療	診療
6	火	伊黒	山本	診療	診療
7	水	山本	山本	診療	診療
8	木	山本	山本	診療	診療
9	金	山本	山本	診療	診療
10	土	休診(救急・急患対応)		休	診
11	日	休診(救急・急患対応)		休	診
12	月	小松	小松	診療	診療
13	火	小松	小松	診療	診療
14	水	休診(救急・急患対応)		休	診
15	木	山本	山本	診療	診療
16	火	山本	山本	診療	診療
17	水	山本	小松	診療	診療
18	木	小松	小松	診療	診療
19	金	小松	小松	診療	診療
20	土	休診(救急・急患対応)		休	診
21	日	休診(救急・急患対応)		休	診
22	月	伊黒	伊黒	診療	診療
23	火	伊黒	伊黒	診療	診療
24	水	伊黒	小松	診療	診療
25	木	小松	小松	診療	診療
26	金	小松	小松	診療	診療
27	土	休診(救急・急患対応)		休	診
28	日	休診(救急・急患対応)		休	診
29	月	伊黒	伊黒	診療	診療
30	火	伊黒	伊黒	診療	診療
31	水	伊黒	小松	診療	診療
	木	小松	小松	診療	診療
	金	小松	小松	診療	診療

※医師の都合により変更になる場合があります。

※医科については土、日、祝日、夜間は急病・救急のみ対応します。(電話75-6100)

タダほど高いものはない

島牧診療所 内科 小松正伸

私の義父が遺した言葉で、「タダ酒は飲むな」と言われたことがあります。製薬会社などの業者が、いろいろ言い寄ってくる医者の世界。甘い言葉には裏がある、の例えを守って、私はタダ酒をすべてお断りしてきました。最近の薬屋さんは、もうそんな過剰な接待はしませんが、昨今の若い医者が、おごられるのが当たり前と、いまだに思い込んでいるのを見るのは情けない。

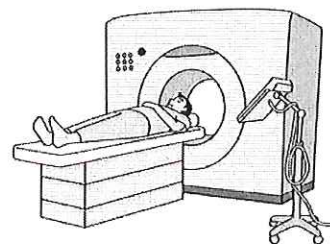
その昔、高齢者の医療費は無料でした。当時の開業医は、冬場に年寄りを3人くらいあずかって入院させておけば、薬だ検査だ点滴だとむだな「治療」で、余るほどの利益を出していました。当然のこと、健康保険の財政は破綻寸前、年寄りの医療費負担が増やされて、開業医は甘い蜜を吸えなくなりました。前に財政の豊かな村で、仕事をしたことがあります。子供は中学生まで医療費が無料。近隣の医療機関にとっては、まことに「おいしい」お客さんだったようです。今でも一部の医者たちは、生活保護の方や小児など、医療費のかからない人たちに、不要とも思えるような検査や薬で、自分のもうけをふやそうと狙っています。良心的なお医者さんを、探しましょうね。かつてのソ連でもそうでしたが、なんでもタダというのは、自分で生きる、自分の生活を守る「やる気」を失い、人間をダメにする施策。



国の偉い人たちは、幼稚園や保育園にかかる費用を、無料にしようと考えています。「教育改革」などと銘打っていますが、本音は選挙のための人気取りでしょう。無料の恩恵にあずかれる親ごさんには朗報でしょうが、ただでさえ赤字いっぱいの財政。この費用を、だれが、どう負担するのでしょうか？かたや医療や福祉のお金が、毎年増え続けているからと、さらに減らそうとしています。だんだんに高齢者は、病院にも介護施設にも行けなくなりそう。年寄りも、さっさとこの世からいなくなるようにするつもりなのではないでしょうか。

6月から診療所ではCT断層撮影装置を使った、肺がん検診を行っています。ふつうの肺がん検診は写真1枚しか撮影しないので、骨に重なる所や心臓の後ろは、どうしても見落とされがち。CTは十数秒間息を止めていれば、百枚以上の画像が作れます。診断のレベルが、全然ちがいます。私はついでお腹も見たいので、肝臓くらいまで入れて撮影しています。肺がん検診は、病気の見落としがないように、診断専門の医師へインターネットですべての画像を送って、その所見を報告してもらいます。二重に確認して、より厳密な診断をこころがけています。ふつうCTによる肺がん検診を村外で受ければ、1万円以上かかります。私たちのところで行う検診は、村の補助もあって、わずか4千円。「無料にしては」という意見もありましたが、自分の健康は自分で守る、という意味合いから、いくらか負担してもらうことにしました。この金額には、私たちの人件費ははいっていません。

「タダ」働きなのであります。これも村の人に健康でいてほしいから。ぜひ、CTによる肺がん検診をお受けください。



おひまなら来てよね 診療所医師たちとの交流会へお誘い

私、寂しいわけではないのですが、診療所医師やスタッフと村の皆さんとの、気楽な語り合いを企てております。ほめ言葉、悪口、苦言、なんでも結構。各地域を回って開きます。日時などは村内放送で、案内しておりますので、ぜひ時間と体の空いている方は、どうぞお集りください。飲食物持ち込み自由。

